

★「アベノミクス」の名で大型公共事業をばらまく安倍自公政権の下、「阿蘇くじゅう国立公園」内で立野ダム熊本県大津町、南阿蘇村の建設が強引に進められようとしています。洪水対策を理由にしていますが、市民からは「ダムによる治水が時代遅れになる中のダム建設なんて逆行している」「ダムよりも河川改修を」「世界の阿蘇に巨大ダムはいらない」との声。

赤旗 読者のひろば

日本共産党
砺波市委員会
西尾 英宣
千代180
Tel 33-6118

【砺波市いじめ防止基本方針】 国の「いじめ防止法」は問題あり

三日、市議会九月定例会が開会しました。
市長提案理由説明のなかで、教育関係について「すべての子どもが、安心して生活し、学び合う環境を社会全体でつくるため『砺波市いじめ防止基本方針』（左囲み参照）を制定、併せて方針を教育活動に反映させるため『小中学校いじめ防止の手引き』を作成し、引き続き方針に沿った。引き続き方針に沿った。引き続き方針に沿った。

て、いじめ防止に関する意識啓発等に取り組み」と報告がありました。
市の基本方針は、国の「いじめ防止対策推進法」にも沿ったものですが、この法は衆参ともわずか四時間の議論で、関係者の意見聴取もなく成立したものの。日本共産党は、「原則的な問題で、見過ごせない点が含まれている」と反対し、関係者の意見も聞き作り直しを求めたものです。

砺波市議会9月定例会日程

- 11日(水)・12日(木)10時～一般質問
 - 13日(金)10時～産業建設常任委員会
 - 17日(火)10時～民生病院常任委員会
 - 18日(水)10時～総務文教常任委員会
 - 20日(金)14時～本会議 議案採決 閉会
- ★本会議(議場)・常任委員会(小ホール)は、入口で受付簿に氏名、住所などを記入して、だれでも傍聴できます。

赤旗日曜版を読んで

(九月一日号)

増税暴走 国民ノー！

菅原文太って自民党の山田としおの仲間じゃなかったの？ 一面に大きく写真が出ていて驚き▼「いのち」が大切にされる社会をめざす国民運動として「いのちの党」を立ち上げたことは記事で初めて知りました▼「：うやむやのままの増税、これでは国民に主権なし、ということでしょう」など、話されていることは、たいへん納得できるものです。山田としおを応援しているから、菅原文太もダメだと思っていましたが見直しました(エラそうですね、すいません)▼日本共産党について「他の政党のように右顧左弁(まわりの情勢や周囲の思惑・意見を気にして、なかなか決断できないでいること)せず、思想を明確にし、はっきりした政策を訴えたこと」を評価されています。「一致する問題で力を合わせたい」という菅原さん。また、映画も観てみようと思いました(六十代 女性)

砺波市いじめ防止基本方針

砺波市教育委員会
平成25年6月27日制定

いじめは、子どもの心や体を深く傷つける、重大な人権の侵害行為です。

すべての子どもたちが安心して生活し、共に学び合う環境を社会全体で作っていくことが求められます。

学校、家庭、地域社会にあつては、子どもたちの絆づくりや居場所づくりに努めるとともに、いじめの未然防止と早期解消に取り組まなくてはなりません。

《いじめに対する基本認識と全関係者による対応》

1 いじめは決して許されないことであるとともに、「どの子どもにも、どの学校でも起こり得るものである」ことを十分に認識して、教職員だけでなく、すべての関係者が連携して未然防止と解消に当たります。

《早期発見・早期対応》

2 日頃から子どもが発する危険信号を見逃さないようにして、いじめの早期発見に努めます。また、定期的にいじめアンケート調査を実施するとともに、個人面談等を通して、子どもの悩みや保護者の不安を積極的に受け止めます。

《いじめを許さない学校づくり》

3 「いじめは人間として絶対に許されない」との意識を、学校教育全体を通じて、子ども一人一人に徹底します。また、情報モラル教育の充実にも努めるとともに、小中学校が連携を深め、継続的な指導と個に応じた支援を充実させます。

《学校、家庭、地域社会と連携した取組》

4 地域をあげて子どもを守り育てるために、学校や家庭、子どもの健全育成に関わる関係諸団体、機関等が連携し、情報交換と行動連携に努めます。

《教育委員会の役割》

5 いじめの問題の解決に向けて、学校への支援の充実を図るとともに、学校、家庭、地域社会が連携を深め、社会全体で子どもの健全育成に取り組む体制を整えます。

手することが必要です。

★安倍政権は3日、閣僚らによる原子力災害対策本部と原子力防災会議の合同会議を開き、福島第1原発の汚染水漏れ問題に関する基本方針を決定。同方針は、「抜本的な対策」といながら、従来の方針を踏襲した上、地下水の海洋放出について「関係者の理解を得るよう最大限努力する」と明記。漁業者ら地元の反発を招くことは必至。

【ただのつじやき】

1日 鷹栖地区防災訓練

基本は各区の避難所に集合し安否確認。雨天のため中止じゃないかと思う人がいるのでは？と、朝から消防のみなさんらが車でアナウンス：お疲れさまです。

来年は市の防災訓練が鷹栖地区中心になるのではないかとということで、役員のみなさんが知恵をしばっておられます。

3日 文化会館展望施設

9月市議会が始まりました。市長の提案理由説明のなかで「チューリップフェア時のタワーの混雑解消、チューリップ公園と周辺施設の一体的利用を進めるため」として、文化会館屋上を活用した展望施設整備が提案されました。予算額は五千万円。

五千万円は、それなりに大きな額であり、優先順位としてどうなのか？疑問です。前市長のときの散

居村展望台整備もそうでしたが、そのもの自体は悪いとは言いませんが、展望台から眺める景観そのものが主役ですよね。チューリップ公園もフェア時だけでなく、年間を通じての活用、四季折々の花々などを充実させることに、もっと力を注ぐことが先ではないでしょうか？

4日 消費税増税反対！

消費税廃止富山県各界連絡会の仲間と一緒に「消費税増税の中止を」街頭から訴えました。

読売新聞ですら「来春の



八%は見送るべき」と、三十一日付の社説で述べて

います(もつとも、読売新聞は増税推進派なので、「八%への引き上げに固執した結果、景気が落ち込み、一〇%への引き上げを實現できなくなれば、本末転倒」というのが社説の肝なので悩ましいところですが...)。

いずれにせよ、「来年四月からの増税はすべきでない」という声が多くなっています。「四月増税実施中止」の一点で共同を広げましょう。

党県委員会のホームページをリニューアル

http://toyama.jpweb.net /でご覧になれます。県内市町村の記事や選挙情報などにアクセスしやすくなりました。ぜひご覧いただき、ご意見を(メールでのニュース配信も開始予定。ぜひご登録ください)。

(何でもお気軽にご連絡・ご相談ください・多田携帯 090-33369-1821(6))

【続きの口話】

3日 早稲の玄米を色選別機でより直しました

糲摺りをして出てきた中身があまりにひどかったのです。カメムシにしっかりとやられていて、摺りながら出てくる米を手の平に広げると斑点のにじんだような粒があつちにもこつちにも。なかには粒の半分以上が褐色になつて

「徹底防除」しないといけないのでしょうか？割り切れないというか、ちよつとした抵抗感が残ります。農民連の仲間が色選別機を持っていてるので使わせてもらえないかとお願

いるものも相当の数で見つかるのです。こんな摺りおろしは見たことがありません！

千粒の中に一粒以上の斑点米があつたら一等米になれず三粒以上なら二等以下と聞いているので

絶望的です。このまま検査を受けたら多分規格外で「とつてけ、どろぼう！」みたいな気分です。売って渡さなければならなくなりま

す。どうしよう。昨年

はコシヒカリが胴割れで二等米もありました。カメムシで二等になったり、田んぼへの農薬散布は一回でも大丈夫なのかもしれないと考えていたのですが、やっぱ

り。時間がかかるのだから！ いったいどれだけのカメムシが寄つてたか。突ついたらこんな事になるんだろうか！